

長期ビジョン策定の 基本的な考え方等について

第3回 「（仮称）はちおうじ未来デザイン2040」懇談会
令和3年（2021年）11月11日



1 長期ビジョンの策定目的

基本構想・基本計画「八王子ビジョン2022」は、令和4年度（2022年度）に基本計画の計画期間を終える。

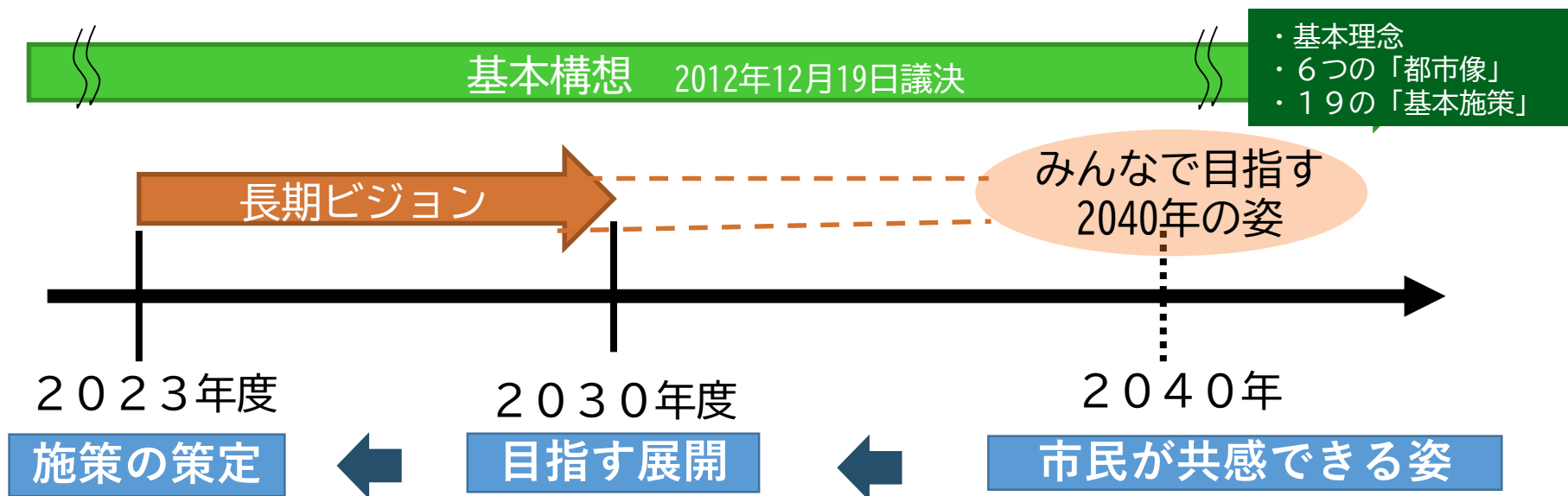
市民の誰もが夢と希望をもてるまちとするため、現状や今後の課題を踏まえ、「みんなで目指す2040年の姿」※と今後の取り組むべき施策を示す。

※「あるべき姿」の文言修正について

修正後	「みんなで目指す2040年の姿」
理由	2040年の「あるべき姿」は、市民と協働して実現していくものであるため

2 計画期間

2040年を見据えた令和12年度（2030年度）に向けた計画とする（8年間）。



3 基本計画の呼称

基本計画の呼称を

「長期ビジョン」とする。

なお、「八王子ビジョン2022」の冊子名称と対比するため、新たに策定する冊子を

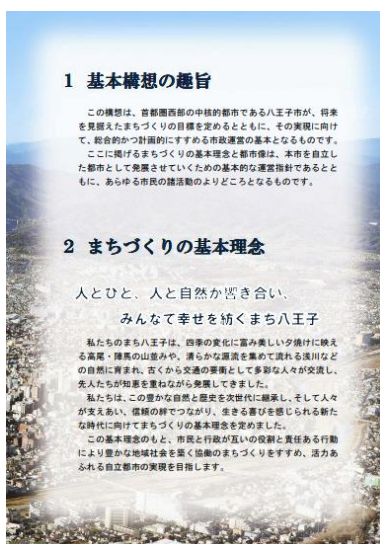
「（仮称）はちおうじ未来デザイン^{（に一まるよんまる）}2040」と呼ぶ。

4 計画体系の基本的な考え方

(1) 基本構想

ア 現行の**基本構想**を**継承**する（平成24年（2012年）12月19日議決）

- ・「基本構想の趣旨」、「まちづくりの基本理念」
- ・政策別の6つの「都市像（私たちが目指すまち）」
- ・「都市像（私たちが目指すまち）実現のための基本方針（19の基本施策）」



「人とひと、人と自然が置き合い、みんなで幸せを紡ぐまち八王子」



4 計画体系の基本的な考え方

イ 基本構想から受け継ぐもの

(ア) 策定時に、市民と市が共有した4つの思い

- ・ 自然と歴史に恵まれたまちの魅力を次世代に引き継ぎたい
- ・ 持続可能な社会を創りたい
- ・ 人々の支えあい、信頼の絆での結び付きを大切にしたい
- ・ 生きる喜びと幸せを感じられる八王子にしたい

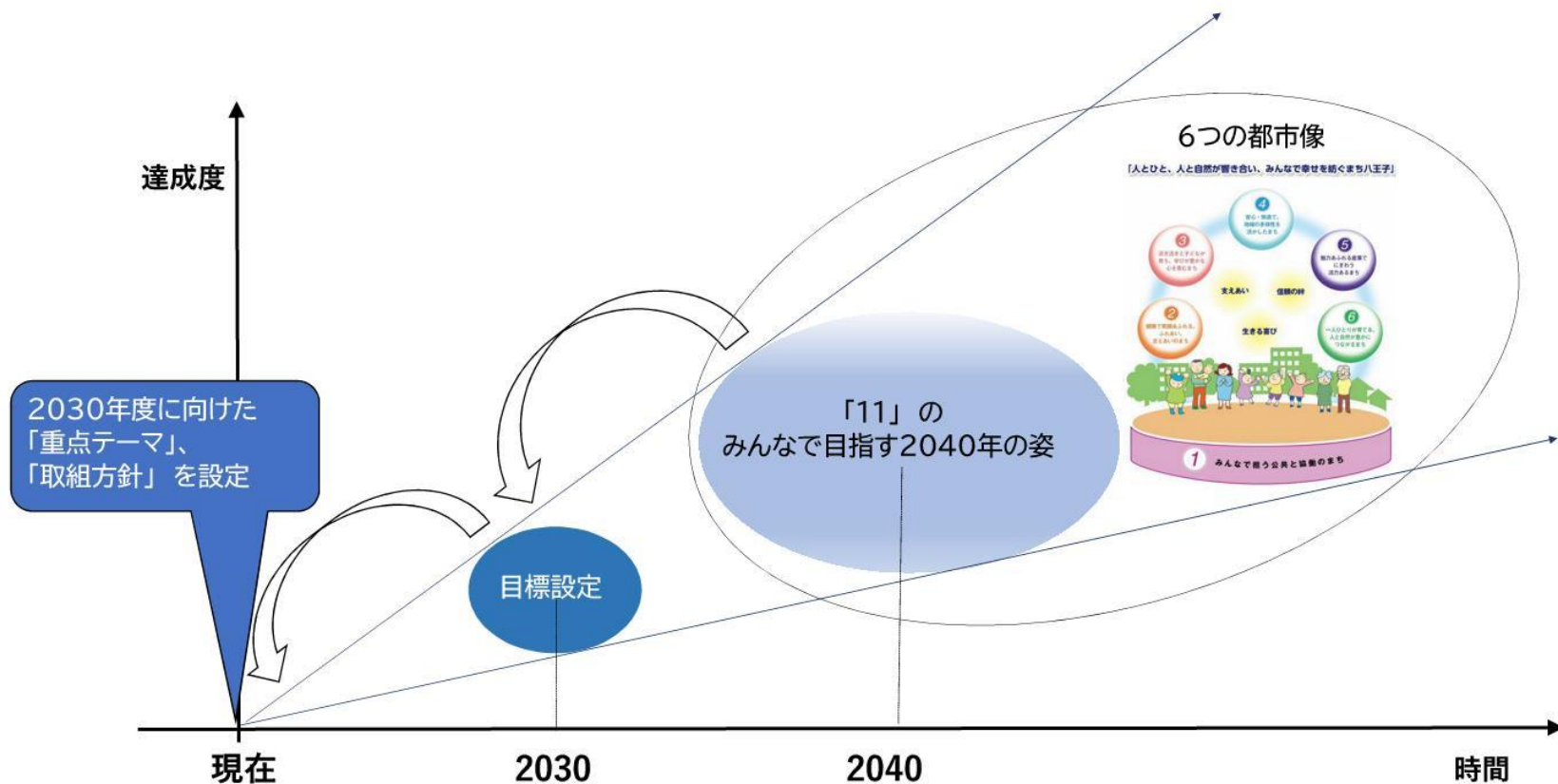
(イ) 都市像実現のための大きな柱

- ・ 「人とひととの支えあい、つながり」
- ・ 市民・行政の互いの役割と責任ある行動による「協働」

4 計画体系の基本的な考え方

(2) 「みんなで目指す2040年の姿」

ア 市民が自分事として共感できる2040年の目指す姿を描く。



4 計画体系の基本的な考え方

イ「都市像」と「みんなで目指す2040年の姿」の関係

「都市像」は、年限設定がなく

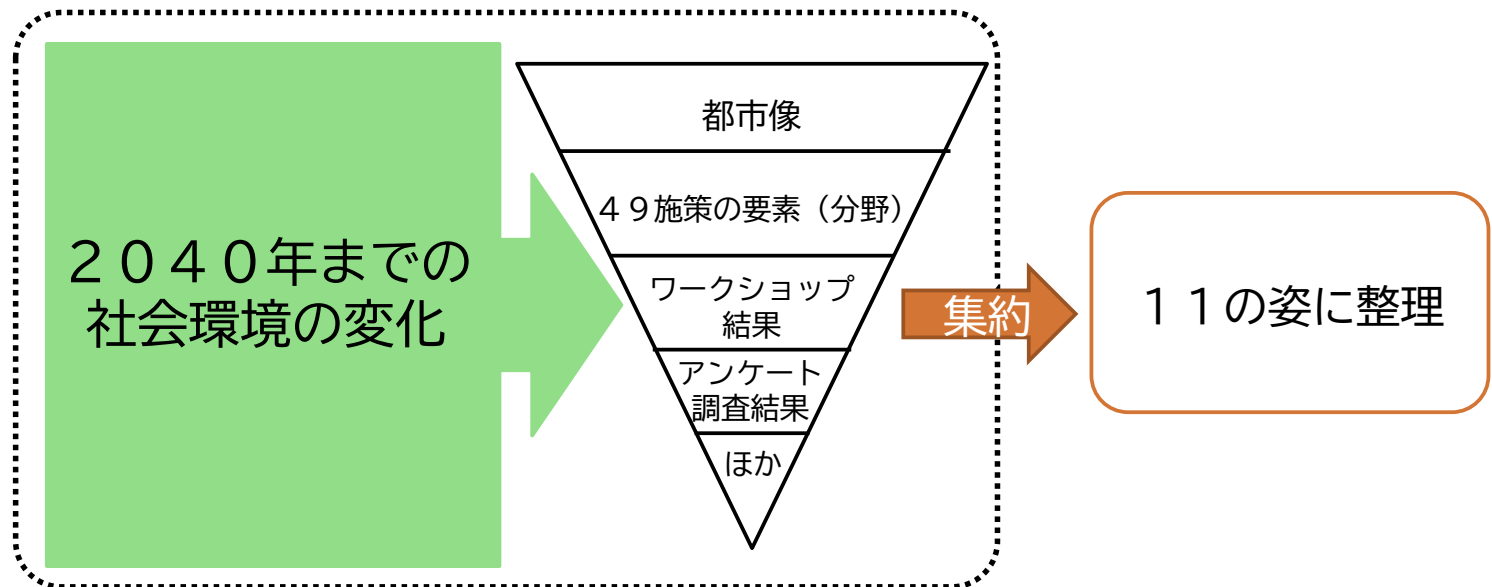
2040年以降も目指す「まち」の姿

- ・そこに向かう移行期において、ターニングポイントとなる2040年に市民が共感できる目標を置き、ロードマップを示すことが重要
- ・「みんなで目指す2040年の姿」は**市民の暮らしや状態を示すもの**で、都市像の「まち」の姿と差別化
- ・「みんなで目指す2040年の姿」は都市像に包まれ、活力あふれる自立都市の実現を目指していく。

4 計画体系の基本的な考え方

ウ「みんなで目指す2040年の姿」の整理

「2040年までの社会環境の変化」を踏まえ、6つの「都市像」、都市像に紐づく「49施策の要素（分野）」、各種「ワークショップ結果」、各種「アンケート調査結果」などをもとに「11」の姿に整理



4 計画体系の基本的な考え方

(3) 重点テーマと取組方針

「みんなで目指す2040年の姿」の実現に向け、

2030年度までに、重点的、施策横断的に取り組む内容
を明確にするため重点テーマと重点テーマの取組方針を目標設定とともに示す。

※第5、6回懇談会で意見聴取予定

4 計画体系の基本的な考え方

(4) 施策体系

「八王子ビジョン2022」の総括や社会環境の変化等を踏まえ、2040年を見据え、2030年度に向けた施策体系を現行の枠組みにとらわれることなく新たに定める。

(5) 体系図 別紙1のとおり

(6) スケジュール 別紙2のとおり